

[プログラム]

バラード第1番 ト短調 Op. 23

英雄ポロネーズ Op. 53

舟歌 Op. 60

革命のエチュード Op. 10-12

小犬のワルツ Op. 64-1

別れの曲 Op. 10-3 (左手作品)

遺作のノクターン 嬰ハ短調

ほか



# シヨパンの生涯

～シヨパンの名曲でその生涯の真相に迫る～



[ピアノ]  
一世 (issei)

ピアノ／一世 (issei)

[特別出演・ゲスト] 佐々木雄大  
[調律] 遠藤信和 (株)三立



[ゲスト]  
佐々木雄大

2016年 5月 8日 (日) 開演14:00 開場13:30

太白区文化センター 展示ホール

チケット ¥3,000 (全自由席) ※未就学児童のご入場はご遠慮ください

[主催・チケットお問い合わせ]

ぴあの倶楽部くらしく TEL 022-398-5447 FAX 022-398-5448 info@pianoclub-classic.com

## [ピアノ] 一世 (issei)

モスクワ音楽院・大学院ピアノ独奏科博士課程修了。芸術学博士。

9歳で「若い芽のコンサート」に出演し、プロコフィエフ・ピアノ協奏曲第3番を演奏。（山本直純指揮／新星日本交響楽団）

18歳で国際ピアノオーディション「レ・プレリュード・コンセール」に最年少合格し、バッハ：ゴールドベルグ変奏曲とブラームス：パガニーニ変奏曲全2巻にてデビュー。（東京／青山タワーホール）

以来、日本全国や海外（旧西ドイツ・フランス・スペイン・ポルトガル・旧ソ連カザフ共和国・ハンガリー・チェコスロバキア・旧ユーゴスラヴィア・英国・米国・カナダ・メキシコ・ブラジル・アルゼンチン・ウルグアイ・台湾・オーストラリア・シンガポール他）にて演奏活動。

世界各地に持つ多数の情報源に裏打ちされた豊富な音楽裏情報を軽妙洒脱なマイク解説で織り混ぜながら、予定所要時間を誤差1分以内に収めるという驚異的なコンサートスタイルで知られている。

2008年からは宮城県にも活動拠点を置き、子供からプロ・経験不問の愛好家まで幅広くピアノ指導する「ぴあの倶楽部くらしっく」主任教官や、童謡・唱歌の一般愛好者のための「一世 (issei) のピアノで歌う童謡・唱歌の会 in 仙台」のリーダーも務めている。

井口基成、安川加壽子、園田高弘、レフ・オポーリン、アダム・ハラシェヴィッチ、イングリット・ヘブラー、タチアナ・ニコラーエワ、ヴラディーミル・クライネフ、レフ・ナウモフ、エフゲニー・マリーニンの諸氏にピアノを、池内友次郎氏に作曲理論と管弦楽法を師事。

日本演奏連盟会員。

## [ゲスト] 佐々木 雄大 / Yuta, Sasaki

宮城県仙台市出身。常盤木学園高校音楽科を経て、上野学園大学ミュージック・リサーチコース（音楽学専門）を首席卒業。

高校在学時からピアノやコントラバスでアンサンブルを中心に演奏活動を行う。仙台ジュニア・オーケストラではコントラバスを担当。

大学はピアノ科で進学したものの、直後に右手を神経病（筋ジストニア）に冒されたため左手のみの演奏スタイルに転向。3年次からはミュージック・リサーチコースに転科して左手ピアノ作品の研究・演奏に従事するとともに、ヴィオラ・ダ・ガンバ（古楽器）も開始。また学内オーケストラではコントラバスを担当した。

4年次在学中の本年1月30日に地元仙台（太白区文化センター）で行われた仙台デビューリサイタルでは、ブラームスやリスト、ゴドフスキー、アルカン、スクリャービン、ライネッケ等の難曲左手作品を演奏し、満員の観客を驚嘆させた。アンコールでは自作の左手ピアノ曲『Alte - Wien / ゴドフスキー：トリアコンタメロン第11曲“古きウィーン”左手用編曲』を披露している。

大学卒業後の4月より仙台にて演奏・作曲活動。オルガンとカンタータの会（仙台宗教音楽研究会）合唱会員。

ピアノを阿部章子、尾形牧子、柳澤美枝子、一世 (issei) の各氏に、声楽を千葉昌哉氏、ヴィオラ・ダ・ガンバを櫻井茂氏に師事。

日本演奏連盟会員。